令和7年度 弥富市立弥富中学校 経営方針

R7.4.1

(1) 本校の教育目標

心豊かで自ら学び、心身ともにたくましい生徒の育成を目指す(生きる力の育成)

《校訓》 大和 (たいわ) — 誠実 助勉 明朗

《目指す生徒像》

- ○自他の命を尊重し、人間性豊かな生徒
- ○深く考え、自ら学び、自己を高める生徒
- ○積極的に心身を鍛え、共に生き抜く生徒
- ○地域に目を向け、郷土を愛する生徒

(2) 学校経営方針

<弥富市学校教育基本方針>

児童生徒の「生きる力」の育成、それを支える学校の教育力の向上を図る

- ○知・徳・体のバランスのとれた生きる力、児童生徒の将来に生きる力を育む
- ○児童生徒の成長を支える環境、信頼される魅力ある学校づくりを推進する

<行動指針>

何ができるようになるか

「当たり前のことを当たり前に」

- ・当たり前のことが当たり前にできるように指導の継続・徹底を図ろう
- ・厳しさと温かさの指導に心がけよう

「不易と流行を見極めて」

- ・弥富中に流れる教育の伝統を大切にしよう
- ・「時を守り、場を清め、礼を正す」等、基本的生活習慣の徹底に努めよう
- ・新しい教育の方向をさぐり、その実現に努めよう

「一人一人を大切に」

- ・子どもの目線に立って、師弟同行の姿勢で子どもに接しよう
- ・子どものもつ個性を大切に、一人の人間として認めよう

「個の力を結集したチーム力を」

- ・小経験者を育てる場を意図的に設定し、"教師力の伝承"を進めよう
- 互いの長所短所を補完しあえる教師集団を目指そう

「地域とともに」

- ・家族、地域と一体となって子育てを進めよう
- ・地域に信頼され、開かれた学校づくりを進めよう
- ・明日の弥富、未来の創り手を育てよう

何を学ぶか

どのように学ぶか

(3) 本年度の重点努力目標

「確かな学力の育成」

ア 研修、研究を深め、魅力ある分かる授業の追究

- ・ 授業研究を通し、指導法、教材研究等の実践研究に取り組み、タブレットの使用方法を定期的に検討し、ICTを効果的に活用することにより、生徒の学力の向上を図る。
- 「学び合う場」をすべての教科で設定し、実践研究する。
- 家庭学習の習慣化を図る。

イ 個に応じた指導の推進

- ティームティーチングや少人数指導を取り入れ、基礎基本の定着を図る。
- 必要に応じて個別指導の場を設定する。

「豊かな心の育成~さりげない優しさがあふれる学校づくり~」

ウ 道徳教育の充実

- ・ 多様な価値に気付き、仲間と学び合うことで、主体的に生きる生徒を育成する。
- ・ 道徳教育を教育活動の柱に据え、全校で取り組む。
- ・ 人権尊重の視点に立った道徳の実践を積み重ねる。

エ 個を大切にした指導の充実

- 特別支援教育の視点をすべての場面に取り入れ、一人一人に寄り添う。
- 支援を要する生徒への手立てや関係機関との連携を図る。

オ 生徒指導の充実

- ・ 基本的生活習慣の育成(あいさつ、掃除、人助け)と相談活動の充実を図る。
- ・ 自己肯定感を育み、自他の命を大切にする心を育てる。
- ・ 情報を共有化することで生徒理解を深め、子どもたちの発する小さなサインを見逃 さないよう心がける。

「健康な心身の育成」

カ 防災を含めた安全指導の充実

地域の特性を考慮した避難訓練などを通し、社会に貢献できる人材を育成する。

キ キャリア教育の充実

・ 体験や見学等の学習を通し、自己の生き方や可能性を考えることができる生徒を育成する。

ク 自主的で自治的な生徒の育成

・ 生徒会活動やさまざまな行事、部活動などを充実させ、集団生活における規律と温かい人間関係の育成を図る。

「信頼される学校づくり」

ケ 安心、安全な居場所づくり

・ 学校が子どもたちにとって安心な場所であるよう、ハード・ソフト両面の充実を図る。

コ 開かれた学校づくり

- ・ 積極的に情報を発信し、地域に愛される学校をつくる。
- ・ 学校評価の実施及び分析を通して、開かれた学校をつくる。

「働きやすい職場づくり」

サ 心身の健康保持

- ・ 衛生推進者をおき、学校職員の心身の健康に努める。
- 勤務時間の適性な管理に努め、心身の健康の保持に努める。

シ 業務改善の推進

- 行事・部活動の見直しや会議の精選をする。
- ・ 学校内外の専門スタッフや関係機関との連携を深め、教職員の負担を軽減する。